

キャラクター名  
御神 真照 (みかみ まてら)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	大学生	カヴァー	大学生
	エンジェルハイロウ			年齢		20
オプション	覚醒	犠牲	衝動	恐怖	初期侵食率	33%
出自	安定した家庭		経験	親友	邂逅	同志

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	2	0	0			2	行動値	13
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	13
精神	2	1	3	1		7	戦闘移動	18
社会	1	0	0			1	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉		
回避	1		知覚	3		意志	4		調達		
運転:自転車	2		芸術:			知識:福祉	2		情報:学問	2	
運転:			芸術:			知識:仏教	5		情報:		
運転:			芸術:			知識:映画	3		情報:		
運転:			芸術:			知識:サブカルチャー	3		情報:		
運転:			芸術:			知識:グルメ	3		情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品	
コネ:研究者	
携帯電話	

合計装甲: 1    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
奇妙な隣人	P	N		
親友(天野うずめ)	P	友情 N 恐怖		
母親(御神 伊邪那美)	P	信頼 N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンイトレイト:サラマンダー	2	2	メジャー	-	自身	サラマンダー		
効果:	クリティカルLv							
氷の塔(炎の塔)	5	4	メジャー	視界	範囲(選択)	対決		
効果:	同エンゲージのキャラは不可							
光芒の疾走	2	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	ほぼ制限なしの戦闘移動をする							
オリジン:レジェンド	5	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	精神系の達成値にLv×2							
氷盾	3	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	ガード値Lv×5							
揺るぎなき心	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	バッドステータス回復×Lv+1							
ウサギの耳	★		メジャー					
効果:	聴覚すごい							
猟犬の鼻	★		メジャー					
効果:	嗅覚すごい							
不燃体	★		メジャー					
効果:	ただの熱や寒さは受け付けない							
快適室温	★		メジャー					
効果:	人間エアコン							
凍結保存	★		メジャー					
効果:	戦闘不能か死亡者を冷凍保存							
効果:								
効果:								

御神 真照(ミカミ マテラ)  
 女性 20歳 B型(RH+) 5月2日生まれ  
 「ご注文ありがとうございます、あちらの自由な席でお待ちくださいね。」  
 「ああ、課題忘れた…。」  
 「ごめん…その、この力が何なのか私にもわからなくて…。」

某市内、某大学に通うごく普通の大学生。青空のような髪をポニーテールにしている。学業成績は並み。絵に描いたような平凡な人生を歩んできたが、ある日、親友がジャームに襲われ窮地に立たされる状況に遭遇。異形を目にした衝撃に声が出なくなる程の恐怖を感じるが、親友の死が寸前に迫る刹那「助けなきゃ」「力があれば」という強い感情で奮い立ち、オーヴァードとして覚醒。ギリギリで救出成功するが、真照は消耗しきって意識を失いその瞬間の記憶は曖昧になっている。

後日、その光景を見ていたUGN戦闘部隊、"ストライクハウンド"日本支部副隊長の「有城 雅也」は真照の居る病室を訪ねる。有城は真照に先日の出来事について説明し、真照はこの世界の裏の部分を知るが受け入れがたい感情を隠す事はできなかった。そして有城は、友人の為に恐怖を乗り越えオーヴァードとして覚醒した真照を見込んで、保護、管理の意図も含めた上でUGNへ勧誘する。現実的に選択肢の無い状況に真照は様々な想いを抱えつつも、自分がこんな力を持った意味を知る為、親しい人を守る為、そしていつか平穏な日常に帰る為に戦う事を決意した。

・ 神社で祀ってる、お狐様に魅入られ、憑かれている。それが力の源。侵食率が上がってくると、のじゃのじゃするかもしれない。たぶんしない。レネゲイドビーイングのお狐様は喋らない。たまにしか見えない。でもなんかいるって感じがする。肩こりがするのは体型のせいだけじゃない。「睨む」時の一瞬、睨まれた人だけに見える。その姿は白い毛並みと、赤い隈取模様のいかにもな風貌。真照本人はこのお狐様に気づいていないが何かがいる…という違和感だけは感じている。

地域で古くから信仰されていた伝承が元となっている。荒ぶる自然の具現存在であるそれは恵みと災いの両側面を持ち、真照に力を与えていると同時に、ともしればその正気を食らいつくそうとする、対話不可能の存在。どちらの側面が出るかは真照の感情に左右される。真照が負の感情に飲まれない限りは比較的穏やかで協力的なレネゲイドビーイングでいてくれる。ギャグパートならたまにベジベジしてツッコミ入れてくれるかもしれない。